



2023年6月29日

各 位

会社名 川 辺 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役社長 岡野 将之  
(コード番号：8123 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役経営管理統括本部長  
有田 二郎  
電話 03-3352-7110

## 上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月22日にスタンダード市場の上場維持基準の適合に向けた計画書を提出し、その内容について開示しております。

2023年3月31日基準日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準への適合状況及び計画期間

2023年3月31日基準日時点におけるスタンダード市場の上場基準への適合状況はその推移を含め以下のとおりとなっており、「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。

当社は、流通株式時価総額に関して、2026年3月31日までに上場基準を充たすために、引き続き各種取組みを進めてまいります。

		株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式 比率 (%)
当社の適合状況 及びその推移	2021年6月30日時点 (移行基準日)	1,659	7,233	7.3	38.8
	2023年3月31日時点 (基準日)※	1,564	7,146	6.7	38.4
上場維持基準		400	2,000	10.0	25.0
2023年3月31日の適合状況		○	○	×	○
当初の計画に記載した計画期間				2026年3月	

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況表をもとに算出を行ったものです。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取組みの実施状況及び評価

当社は、2021年12月22日に公表した「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」に基づいて、スタンダード市場上場維持基準の充足に向け、業績向上を図るとともに企業価値向上に向けた取組みを進めて参りました。

マーケティング活動、広報活動を強化し、「お客様に求められる商品及び再生繊維の使用や環境に配慮した商品等、時代のニーズに則した企画・販売」及び「大手雑貨マーケット、大手書店グループ等、新たな販路へのアプローチの強化による新規販路の開拓」並びに「新たなコンテンツ販売及びSNSとの連動による自社ECサイトを含めたEC事業の拡大による売上高の成長」、「各グループ会社の取引先情報を共有及び連携を積極的に図り、生産地の見直し等の原価抑制による収益性の向上」など複合的に推進することにより、不測の環境下にあっても、経営基盤を着実に強化し、営業利益と営業キャッシュフローを創出して参りました。

その結果、2023年3月期では売上高125億51百万円（前年同期比116.4%）、営業利益1億23百万円（前年同期営業損失2億14百万円）、経常利益2億5百万円（前年同期経常損失1億22百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益1億24百万円（前年同期親会社株主に帰属する当期純損失3億65百万円）となり、売上高の大幅な増加や在庫削減が実行できたことにより、売上総利益が増加し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は増益となり、大幅な利益改善となりました。

上記実績内容により、当初10円の株主配当を予想しておりましたが、結果15円への増配となりました。

また、当社は社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題についても取り組んでおり、その他様々な企業活動や対応情報及び新商品情報等を自社サイトの掲載により、株主様、投資家様への情報発信及び投資家様とのコミュニケーションを強化し、当社認知度の向上を図りました。

### 3. 上場維持基準への適合に向けた今後の課題と取組内容

当社は、株主数、流通株式数、流通株式比率については基準を充たしておりますが、流通株式時価総額が基準を充たしておりません。主な理由は、株価の低迷が影響していると思われまます。したがって企業価値の向上と株式市場での適正な評価を得ることが課題であると考えており、引き続き計画に基づく企業価値の向上及び株主還元の実現に取り組んで参ります。

当社は、2023年6月20日に2023年4月～2026年3月の期間を対象にした「中期経営計画2023 NEXT」を開示しました。

当社グループ各社が個別に対応するのではなく、各社の強みを結集し、連携することでシナジーを最大限活かしていこうというのが中期経営計画の骨子となります。

当社グループは生産の川上から販売のリテールまでのサプライチェーン、いわゆる垂直型が当社の強みです。それを活かし、生産性の向上、コスト削減による収益確保、さらに新たにグループ全体で取り組むオリジナルブランド強化に努め、企業価値向上と顧客満足度向上、資産価値の形成に努めたいと考えます。

よって「中期経営計画2023 NEXT」の定量目標については、「2026年3月 売上高145.5億円 経常利益3億円 配当性向40%以上」と致しました。

詳細につきましては、当社ホームページ「IR情報 IRニュース」に掲載しております。

※「中期経営計画2023 NEXT（2023年4月～2026年3月）」

[https://www.kawabe.co.jp/\\_wp/wp-content/uploads/20230620-1.pdf](https://www.kawabe.co.jp/_wp/wp-content/uploads/20230620-1.pdf)